

宮城

全
県
版

©日本建設新聞社(令和6年)
(西に41年11月16日 第3種郵便登録)
日刊(日、月、祝翌日休刊)

日刊建設新聞

The Nikkan Kensetsu Shimbun

6月4日火曜日

2024年 第11975号

発行所
日本建設新聞社
仙台市青葉区上杉1-6-10
電話 022-221-9211
FAX 022-216-1051

測量の日 東北地区推進協

「測量の日」東北地区事業推進団体協議会は1日、仙台市内の仙台市科学館で「第36回地図と測量のミニフェスタ」を開催した。3日の「測量の日」を記念したイベントで、会場には家族連れなど年を上回る約470人が来場。

トータルステーション(TS)を使ったクイズやGPS体験、地図測量設計業協会(宮測)による地図記号クイズを出題する地図教室▽GPSを使った測量ゲーム(TSシミューティング)▽UAV練習機操縦体験▽GPSを使った地球一周の計測体験▽動物園・水族館を描くCAD操作体

協、北杜学園仙台工科専門学校。この産官学の4者がミニフェスタ実行委員会として連携してイベントを開催した。仙台市科学館が共催、仙台市中学校社会研究会が後援した。

当日は▽地図記号クイズを出題する地図教室▽GPSを使った測量ゲーム(TSシミューティング)▽UAV練習機操縦体験▽GPSを使った地球一周の計測体験▽動物園・水族館を描くCAD操作体



行列ができたTSシミューティングのコーナー

ミニフェスタに470人来場

「測量の日」の各コーナーを運営。3D眼鏡をかけて大きな地図の上を歩く「東北地方空中散歩マップ」、中学生の地図作品などを展示も行った。

天候にも恵まれ、TS-UAV・GPSの3つを体験すると豪華景品

がもらえるスタンプラリーも同時開催したことでもうなぎのように多くの来場者で賑わった。

「測量の日」が会場内を賑しそうに行き来していた。

隠されたクイズを見つけ、操作方法や性能を質問するなど、間近で見る機会があつて、大勢の親子連れが会場内を楽しそうに行き来していた。

「測量の日」が会場内を賑しそうに行き来していた。

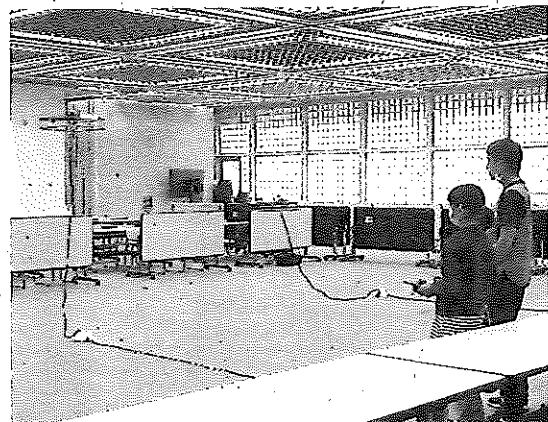
実行委員長を務める地理院東北地方測量部の星野秀和部長は「地図や測量はどちらも身近にあり、平時には便利な生活を下支えし、また防災のツールともなる。ミニフェス

ト操作が楽しかった」と操作が楽しかった」と目を輝かせていた。

地図と測量に親しむ一日



地図教室の様子。地図記号クイズに子どもたちが積極的に答えていた



UAV練習機の体験では、操作のほか、振動や音も体感